

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

対象:放課後等デイサービス職員5名

回収 5名

R7.3.10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			個別対応等のエリアを確保する等、十分なスペースは確保できている
	② 職員 の配置数は適切であるか	2	3		・基準の配置は満たしているが、更にパート職員を採用して柔軟な配置が出来たらと考えている
	③ 事業所の 設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			・身体的な障害には対応しているが、自閉症支援に関しては工夫をしながら対応している
業務改善	④ 業務改善を進めるた の PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・保護者への自己評価以外のアンケートは行っていないが、保護者からの意見は利用者支援に反映させている
	⑥ この自己評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	・第三者による評価は未実施
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・専門家による職員向け研修を年間通して定期的に実施中、職員全員参加としている
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・必要な場合にその都度アセスメントを実施し、支援計画へ反映させている
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			決められた様式と手順でアセスメントをとっている
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・職員間の話しあいで方向性などを検討し、計画している
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			・各利用者の支援計画に沿って実施、モニタリングの際の達成状況に合わせ、自立課題の更新等取り組んでいる。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			・各利用者の支援計画に沿った内容で設定し、活動に取り入れている ・長期休暇中は外出やクッキング等の活動を実施
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別化を図りながら、計画を実施している
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	5			・朝礼にて昨日の振り返りと、当日の活動内容や役割分担など確認している
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし その日行われた支援の振り返りをい、気付いた点等を共有しているか		5		・日々の振り返りは翌日の朝礼で実施、支援終了後は当日に処理の必要な場合のみ実施している
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	3		・課題行動に対して、行動記録や冰山モデルシート等の記録をとり支援方法を検証することを更に充実させたいと考えている
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・定期的なモニタリングの実施で達成状況を確認し、それによって支援計画の見直し行っている
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2			
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			・関係者会議等には児童発達支援管理責任者及びケース担当者が参加している。	

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			・学校送迎時の児童の体調確認等必ず引継ぎを受けている。また、支援の協力や情報提供は適宜実施している。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・現在医療的ケアの必要な子どもの受入れはない
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			・相談支援専門員から情報提供を受け、利用開始前アセスメントを実施して受入れを行っている
	㉓	子校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供しているか	5			・実施済み
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			・発達障害に関する研修等受講している
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	利用者、家族ともにニーズがない
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			5	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	5			・連絡帳を活用、また、自宅への送迎時に報告をおこなっている。必要な場合は電話連絡で情報の共有を図る
	㉘	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・ニング等の支援を行っているか			5	・ペアレントトレーニングまでとはいかないが、ツールの共有等を実施、また、可能な限りの相談への助言は行っている
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・契約の際に、必ず説明を実施、必要な場合はその都度説明を行う
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・必要に応じて対応している
	㉛	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携支援しているか			5	・現状として保護者のニーズが薄く、保護者同士の連携支援には至っていない
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			・体制は整えており、苦情の場合は速やかに対応する。 ・苦情ではないが、対応について気をつける点については迅速に対応している
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や、行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			5	・今までのところ取り組めていないが、今後は活動内容等の情報発信に努める
	㉞	個人情報に十分注意しているか	5			
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか	5			
	㊀	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		・法人全体では地域交流の取り組みは行っている。 ・就労センターで行われている行事等に参加している。
非常時等の対応	㊁	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		・マニュアルは整備されているが、保護者への周知については未実施のマニュアル等あり
	㊂	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・安全計画に盛り込み、年2回の火災による消防避難訓練と、地震によるシェイクアウト訓練を実施している。
	㊃	虐待を防止するため、職員の研修機会確保等、適切な対応をしているか	5			・法人全体で人権研修を実施している
	㊄	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			・身体拘束に関してのマニュアルを策定、必要な場合はそれにそって対応するが、今までの支援で身体拘束の状況はなかった
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				・現在アレルギーの児童はいないが、利用の場合はアレルギー対応を行う
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して業所内で共有しているか	5			・事故・ヒヤリのレベル別一覧表作成、随時更新し各職員が確認しやすい方法で共有している。また、実際の事故・ヒヤリについては報告書を回覧し、対応策も含め再発防止のために周知をしている